

## 平成24年 運輸業(貨物取扱業を含む)死亡災害事例

No.	月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
			年齢		
			経験	起因物	
1	1月	道路貨物運送業	貨物自動車運転者	交通事故(道路)	被災者は、東北地方の高速道路をトラックで走行していたところ、午前5時ごろ、路面が凍結していたためスリップして対向車線へ出てしまい、対向車線を走行していた車両と正面衝突した。
			60歳代		
			5年以上10年未満	トラック	
2	2月	道路貨物運送業	貨物自動車運転者	飛来、落下	納品先の作業者が、トラックの荷台から鋼材(半円筒形、約1t)を降ろす作業を行った。天井クレーン(定格荷重5t)を使用して、つり具のクランプで鋼材をつかんでつり上げ、降ろす場所で降ろす位置を調整しようとしたところ、クランプが外れて鋼材が落下し、落下して倒れた鋼材がそばにいた被災者(トラックの運転手)に当たった。
			50歳代	玉掛用具	
			30年以上35年未満		
3	2月	道路貨物運送業	貨物自動車運転者	交通事故(道路)	被災者は、片側2車線道路を、貨物自動車を運転して走行していたところ、中央分離帯の伐採作業を行うために中央側の車線に停車していた貨物自動車に、追突した。
			40歳代		
			5年以上10年未満	トラック	
4	3月	道路貨物運送業	貨物自動車運転者	交通事故(道路)	深夜、片側3車線の高速道路において、中央分離帯側の追い越し車線と中央の走行車線に3台のトラックが停車し、被災者を含む運転手3名が路上で口論していたところ、別のトラックが追突した。
			30歳代		
			5年以上10年未満	トラック	
5	3月	道路旅客運送業	乗用自動車運転者	交通事故(道路)	被災者を含む運転者2名(交代で運転)でハイヤーを運転して高速道路を走行中、乗客の都合で、サービスエリア出口の合流車線の路肩に停車していたところ、サービスエリアから出てきたトラックに追突された。被災者は、運転席の後ろの座席で休んでいた。
			40歳代		
			1年以上5年未満	トラック	
6	4月	道路貨物運送業	貨物自動車運転者	その他	被災者は、トラックを運転中、虚血性心不全を発症して意識を失い、道路標識に衝突した。いわゆる過重労働があったものと推定される。
			40歳代		
			25年以上30年未満	起因物なし	
7	6月	道路旅客運送業	乗用自動車運転者	交通事故(道路)	被災者は、タクシーに乗務していたが、停車して車から出たときに車が前方へ動き出した。止めようとして運転席に身体を半分入れたところで、ドアが電柱に接触して閉まり、ドアと車体の間に挟まれた。エンジンを止めずに、シフトレバーもドライブレンジに入っていたのではないかと推定される。
			50歳代		
			10年以上15年未満	乗用車、バス、バイク	
8	8月	陸上貨物取扱業	作業・技能者	はさまれ、巻き込まれ	被災者は、食品倉庫内の作業場において、業務用海苔の仕分け作業を行っていた。午後3時ごろ、被災者は配送業者が仮置きしていたフォークリフトを運転し、フォークリフトのフロントピラー(ヘッドガードの支柱)と倉庫内のラック(棚)の支柱との間に頭を挟まれた。フォークリフトの運転は被災者の業務ではなく、運転した理由は不明。
			50歳代		
			1年未満	フォークリフト	
9	9月	道路貨物運送業	積み卸し作業	はさまれ、巻き込まれ	被災者は、倉庫内において、フォークリフトを使用して入荷した商品を仮置きする作業を行っていた。既に置かれている商品の上に荷積みしようとしたところ、既に置かれている商品の一部の荷ずれに気付いた。被災者は、フォークリフトの運転席から身を乗り出して修正しようとした際、誤って操作レバーに触れ、フォークリフトのマストとヘッドガードとの間に胸部を挟まれた。
			40歳代		
			1年未満	フォークリフト	
10	10月	道路貨物運送業	貨物自動車運転者	交通事故(道路)	被災者は、貨物自動車を降りて公道を歩行していたところ、道路に駐車しようとしてバックしてきた10トントラックにひかれた。
			70歳代		
			10年以上15年未満	トラック	

	月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
			年齢	起因物	
			経験		
11	12月	道路貨物運送業	運転者	交通事故（道路）	被災者は、午後22時ごろ、配送業務が終了したのでトラックを運転して車庫に戻る途中、作業中の清掃作業車に追突した。
			20歳代		
			1年以上5年未満		